

## 県内の景気動向

概況（2023年8月）

### 景気は、回復の動きが強まる（6カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、天候の影響があったものの、消費マインドは底堅く、回復の動きがみられること、建設関連は資材価格が高止まりしているものの、民間工事は堅調な動きが継続しており、回復の動きがみられること（上方修正）、観光関連は、天候の影響を大きく受けたものの、コロナ5類移行後、初の夏休みシーズンとなり旅行需要は高く、回復の動きが強まっていること、総じて県内景気は回復の動きが強まる（6カ月連続）。

### 消費関連

百貨店売上高は、2カ月連続で前年を上回った。台風第6号襲来による影響がみられたものの、コロナ5類移行後初となる旧盆では、中元ギフトなど食料品を中心に需要高く、売上増加に寄与した。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに15カ月連続で前年を上回った。台風襲来による影響がみられたものの、旧盆需要や行楽需要の高まりなどにより底堅く推移した。新車販売台数は、新車の供給制約が改善傾向にあることなどから12カ月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額（7月）は、7カ月連続で前年を下回った。

先行きは、物価高などにより引き続き不透明感はあるものの、人流回復が鮮明となるなか消費マインドが底堅く推移していること、また耐久消費財の供給制約も和らぎつつあり、徐々に回復の動きが強まるとみられる。

### 建設関連

公共工事請負金額は、市町村、独立行政法人等・その他は増加したが、国、県は減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。建築着工床面積（7月）は、非居住用は減少したものの、居住用は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数（7月）は、持家は減少したが、貸家、分譲、給与は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから3カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメントは2カ月ぶりに前年を下回り、生コンは3カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高は、鋼材価格が高止まりしていることなどから前年を上回り、木材売上高は、出荷量が減少したことなどから前年を下回った。

先行きは、資材価格などが高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化していることなどから回復の動きがみられる。

### 観光関連

入域観光客数は、21カ月連続で前年を上回った。国内客は21カ月ぶりに減少し、外国客は11カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入全て21カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は18カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は3カ月連続で減少、売上高は18カ月ぶりに前年を下回った。コロナ5類移行後、初の夏休みシーズンとなり旅行需要高く、各種イベントの再開や航空便増便等があった一方、台風6号が長期停滞した影響が下押し要因となった。

先行きは、アジア方面からの那覇空港発着便の拡充や中国からの団体旅行再開があり、外国客も増加が見込まれること、また国内においても、引き続き高い旅行需要が見込まれ、緩やかに拡大するとみられる。

### **雇用関連**

新規求人数は、前年同月比 1.5%増となり 2 カ月連続で前年を上回った。宿泊業・飲食サービス業、卸売業・小売業、医療・福祉などで増加した。有効求人倍率（季調値）は 1.19 倍で、前月より 0.01 ポイント低下した。完全失業率（季調値）は 4.0%と、前月より 1.5 ポイント上昇した。

### **その他**

消費者物価指数は、前年同月比 4.2%の上昇となり、24 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.9%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 5.2%の上昇となった。

企業倒産件数は 1 件で前年同月から 2 件減少した。負債総額は 2,000 万円で、前年同月比 94.8%減となった。

# りゅうぎん調査 (2023年8月)

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2023.6－2023.8)
<b>1. 消費関連</b>		
(1) 百貨店(金額)	8.8	4.4
(2) スーパー(既存店)(金額)	8.6	7.1
(3) スーパー(全店)(金額)	7.6	6.6
(4) 新車販売(台数)	3.2	13.2
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(7月) ▲ 0.8	(5-7月) ▲ 5.1
<b>2. 建設関連</b>		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 32.3	▲ 19.4
(2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(7月) 5.0	(5-7月) 5.5
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(7月) 26.4	(5-7月) 25.6
(4) 建設受注額(金額)	P 700.2	P 180.7
(5) セメント(トン数)	▲ 15.5	▲ 7.1
(6) 生コン(m <sup>3</sup> )	▲ 24.8	▲ 11.9
(7) 鋼材(金額)	P 4.1	P 11.4
(8) 木材(金額)	▲ 19.2	▲ 8.9
<b>3. 観光関連</b>		
(1) 入域観光客数(人数)	13.7	27.9
うち外国客数(人数)	96,300.0	288,900.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 1.8	(前年同期差) 6.4
	(実数) 54.1	(実数) 57.4
(3) " 売上高(金額)	2.3	21.7
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 10.1	P 42.8
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 21.0	▲ 9.9
(6) " 売上高(金額)	▲ 18.7	▲ 3.3
<b>4. その他</b>		
(1) 県内新規求人数(人数)	1.5	5.2
(2) 有効求人倍率(季調値)	1.19	1.20
(3) 消費者物価指数(総合)	4.2	4.2
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 2	(前年同期差) ▲ 4
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(7月) ▲ 2.0	(5-7月) ▲ 4.1

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 2022年4月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

(注3) ゴルフ場は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

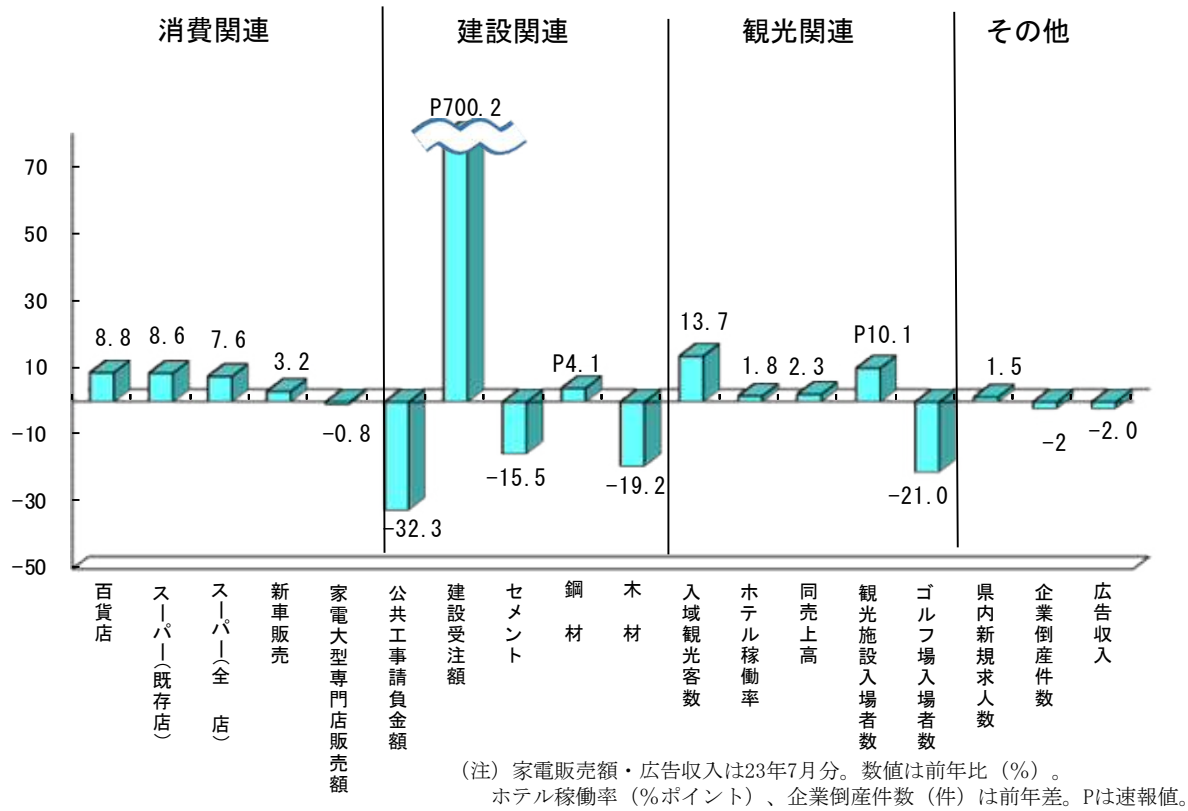
(注4) 主要ホテルは、2021年11月より調査先を28ホテルから27ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

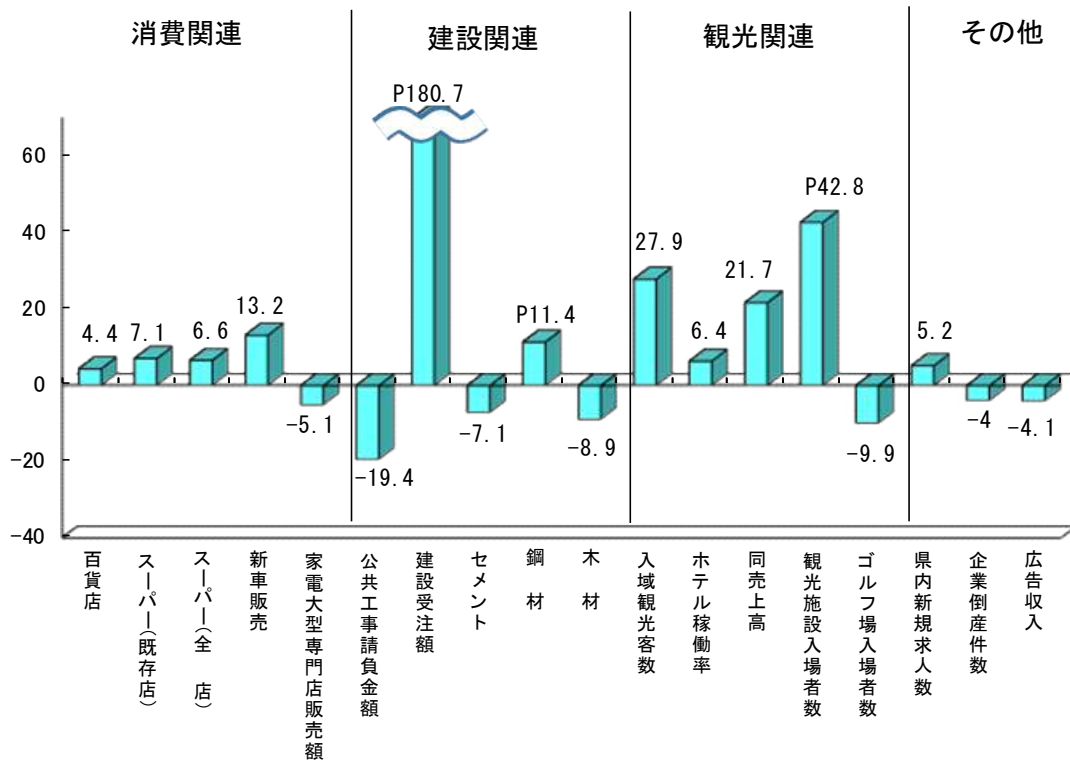
(注6) 建設受注額は、2022年12月より調査先17先のうち、一部更改を行った。

(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2023年8月)

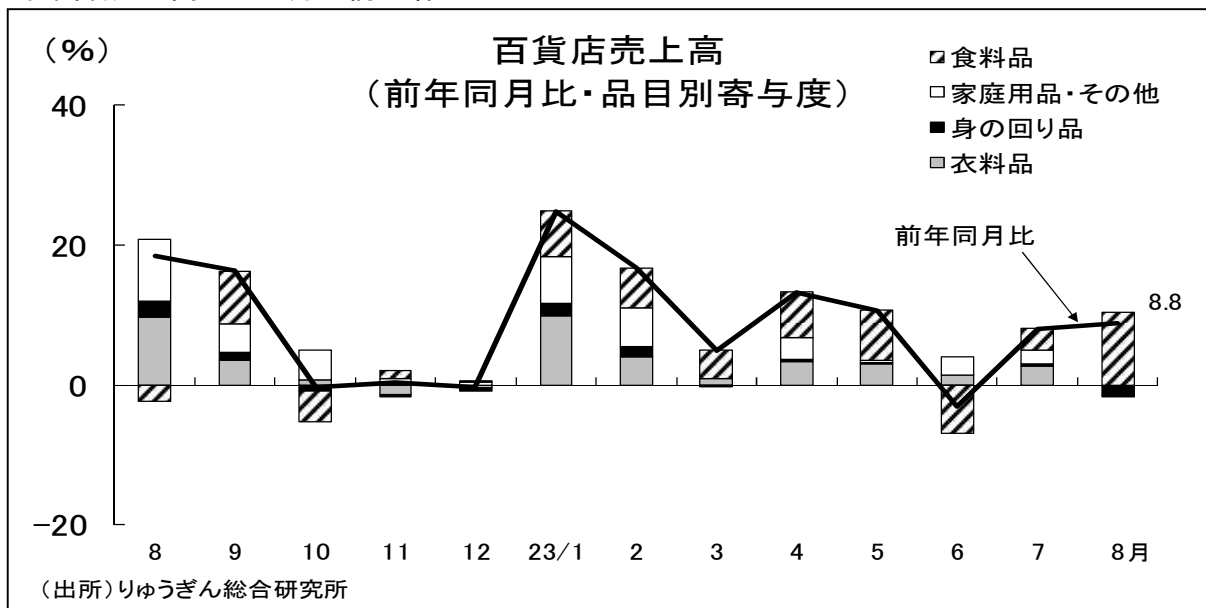


項目別グラフ(3カ月、2023年6月～2023年8月)



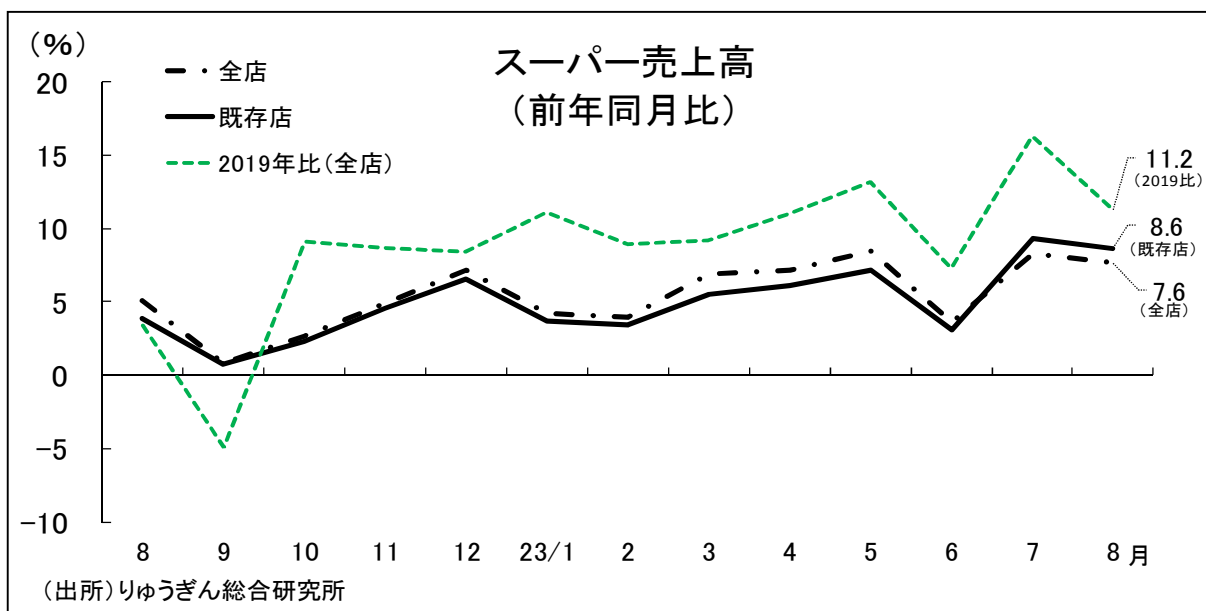
# 1. 消費関連

## (1) 百貨店売上高：2カ月連続で増加



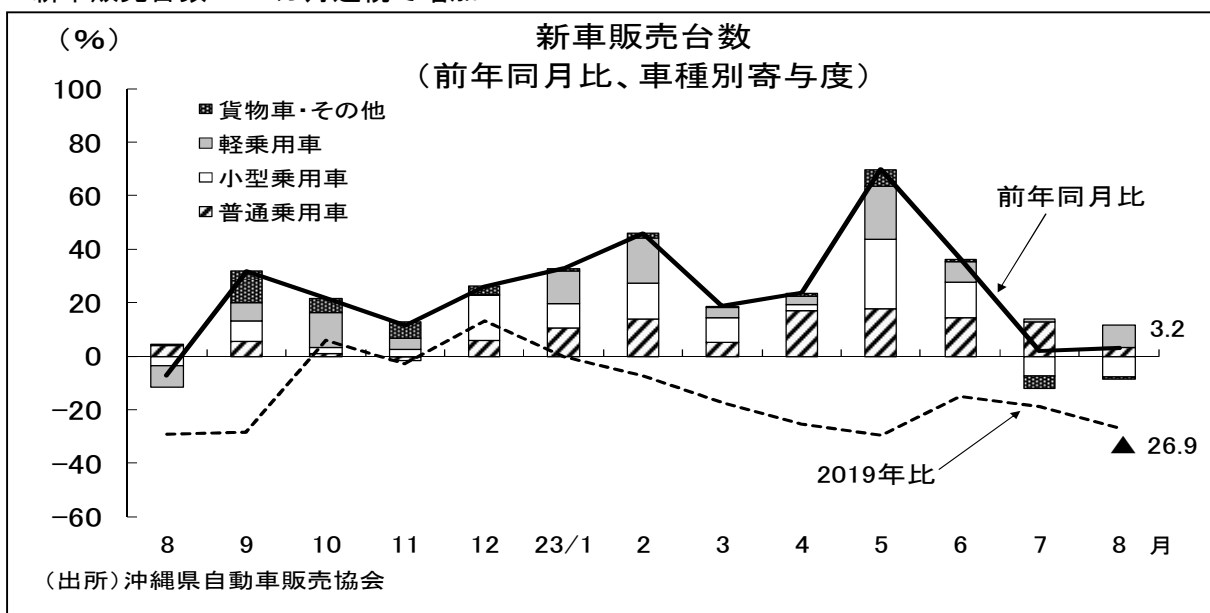
- 百貨店売上高は、前年同月比 8.8%増と 2 カ月連続で前年を上回った。
- 月上旬に襲来した台風第 6 号が長期停滞したことにより、休業や時短営業、物流停滞等の影響がみられたものの、コロナ 5 類移行後初となる旧盆では、中元ギフトなど食料品を中心に需要が高く、またインバウンド客の増加などもあり売上が増加した。
- 品目別にみると、食料品が同 29.3%増、衣料品が同 0.6%減、身の回り品が同 18.4%減、家庭用品が同 2.3%減、家庭用品・その他が同 0.3%減となった。

## (2) スーパー売上高：全店ベースは 15 カ月連続で増加



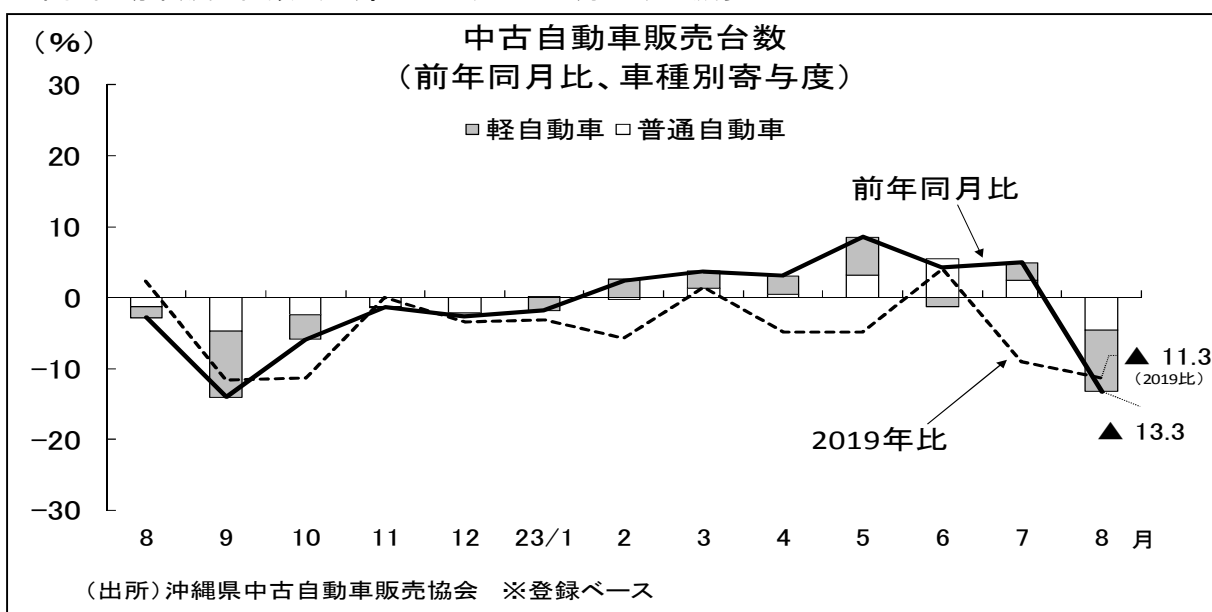
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 8.6%増と 15 カ月連続で前年を上回った。
- 台風襲来による影響がみられたものの、旧盆需要の高まりなどにより食料品は同 9.5%増、衣料品は浴衣や水着などの季節商材が好調となり同 2.5%増、住居関連は同 6.4%増となった。
- 全店ベースでは同 7.6%増と 15 カ月連続で前年を上回った。
- コロナ禍以前の 2019 年と比較すると、全店ベースでは 11.2%の増加となった。

(3) 新車販売台数：12カ月連続で増加



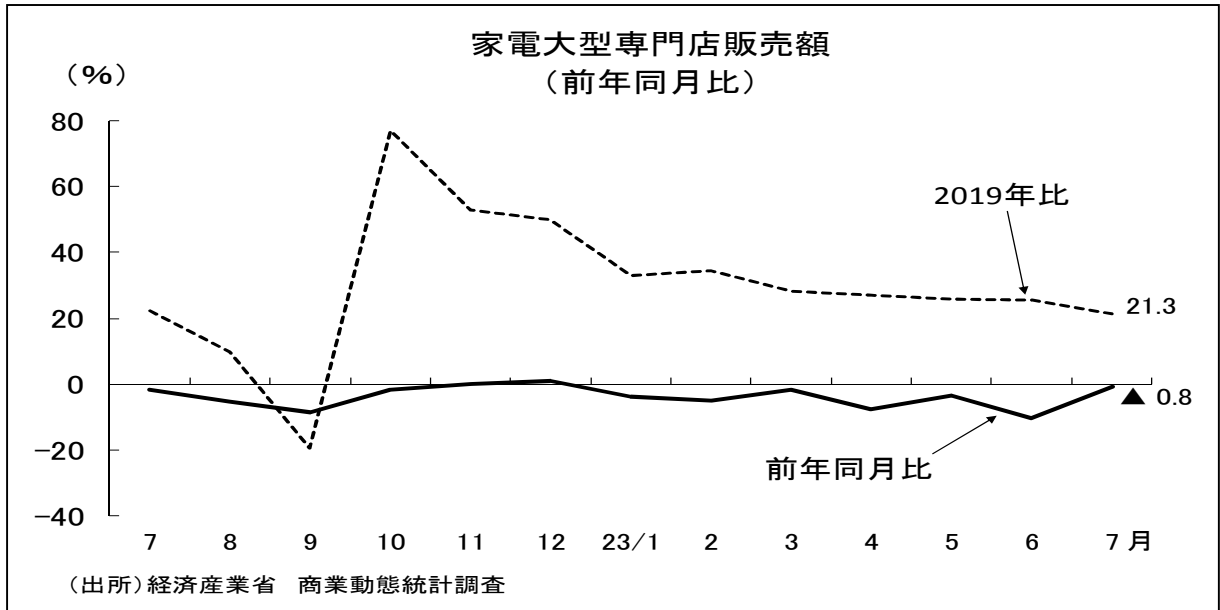
- ・ 新車販売台数は2,875台で前年同月比3.2%増と12カ月連続で前年を上回った。
- ・ 新車の供給制約が改善傾向にあることや、前年の反動などにより前年を上回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は1,301台（同9.0%減）で、うち普通乗用車は661台（同15.6%増）、小型乗用車は493台（同30.4%減）であった。軽自動車（届出車）は1,574台（同16.1%増）で、うち軽乗用車は1,202台（同24.9%増）であった。
- ・ コロナ禍以前の2019年と比較した伸び率は、26.9%の減少となった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：7カ月ぶりに減少



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万6,559台で前年同月比13.3%減と7カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が6,756台（同11.4%減）、軽自動車が9,803台（同14.5%減）となった。
- ・ コロナ禍以前の2019年と比較した伸び率は、11.3%の減少となった。

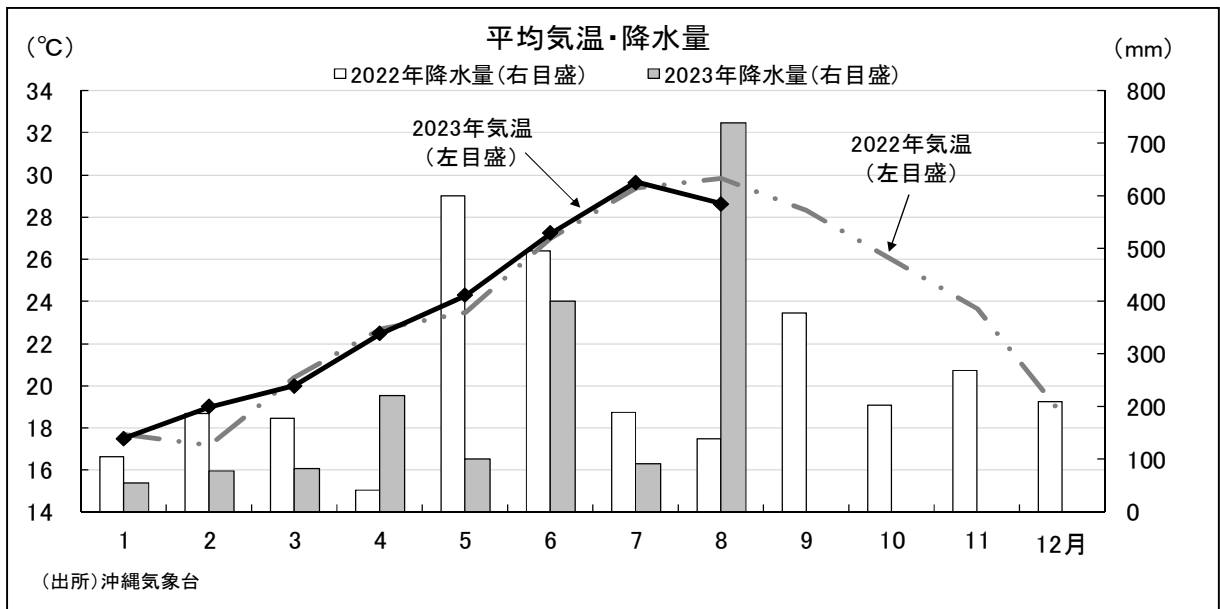
(5) 家電大型専門店販売額：7カ月連続で減少



- ・ 家電大型専門店販売額（7月）は、前年同月比 0.8%減と7カ月連続で前年を下回った。
- ・ コロナ禍での巣ごもり需要の反動が和らぎつつあることなどから減少幅は縮小した。
- ・ コロナ禍以前の2019年と比較した伸び率は、21.3%の増加となった。

(参考)

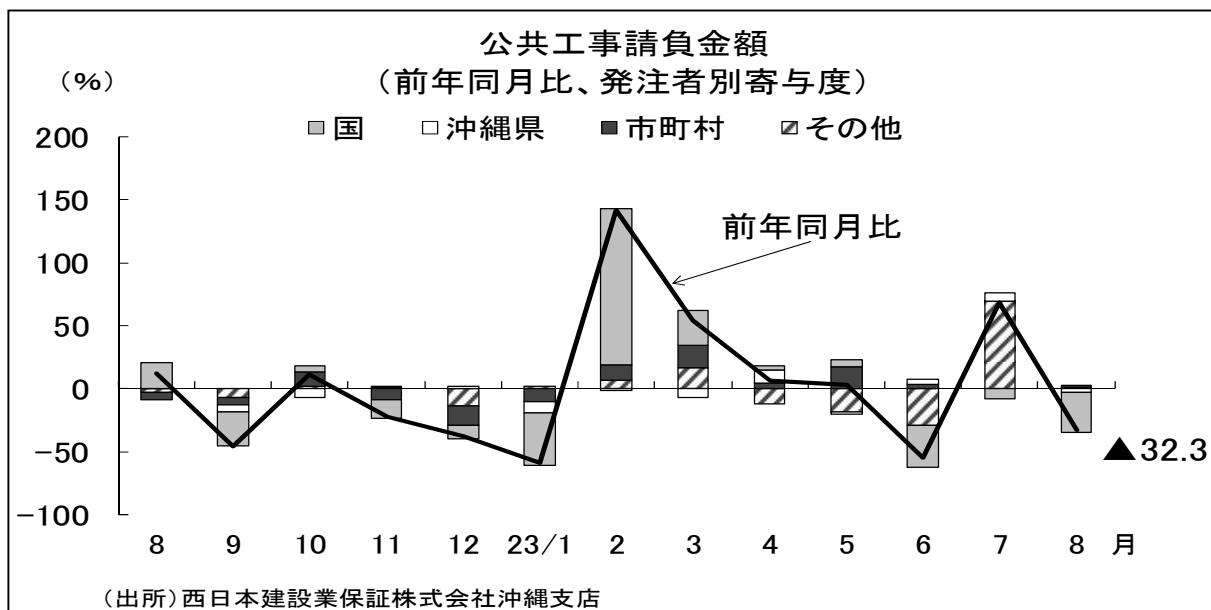
◇ 気象: 平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 28.6°C で前年同月 (28.7°C) より低く、降水量は 738.5mm で前年同月 (109.5mm) より多かった。
- ・ 月の月上旬は、動きの遅かった台風第6号の影響を受けたことや、湿った空気の影響などで曇りや雨の日が多く、大雨や大荒れとなった日があった。中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・ 平均気温は平年より低く、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年より少なかった。

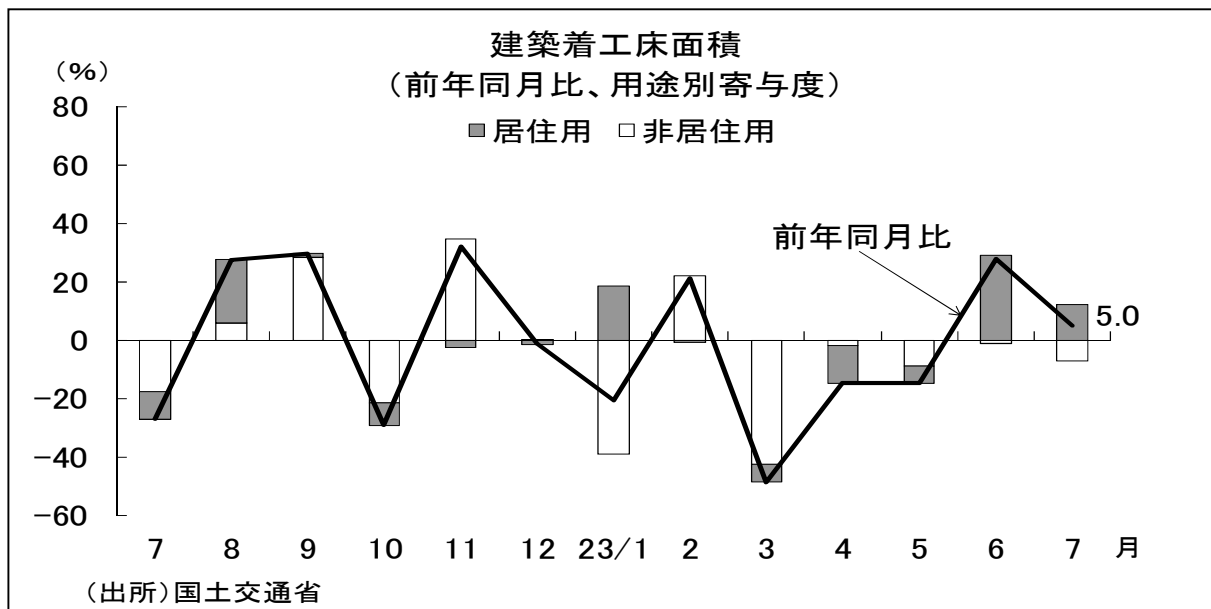
## 2. 建設関連

### (1) 公共工事請負金額：2カ月ぶりに減少



- 公共工事請負金額は、269億7,616万円で、市町村、独立行政法人等・その他は増加したが、国、県は減少したことから、前年同月比32.3%減となり、2カ月ぶりに前年を下回った。
- 発注者別では、市町村(同4.9%増)、独立行政法人等・その他(同99.8%増)は増加し、国(同57.6%減)、県(同14.7%減)は減少した。

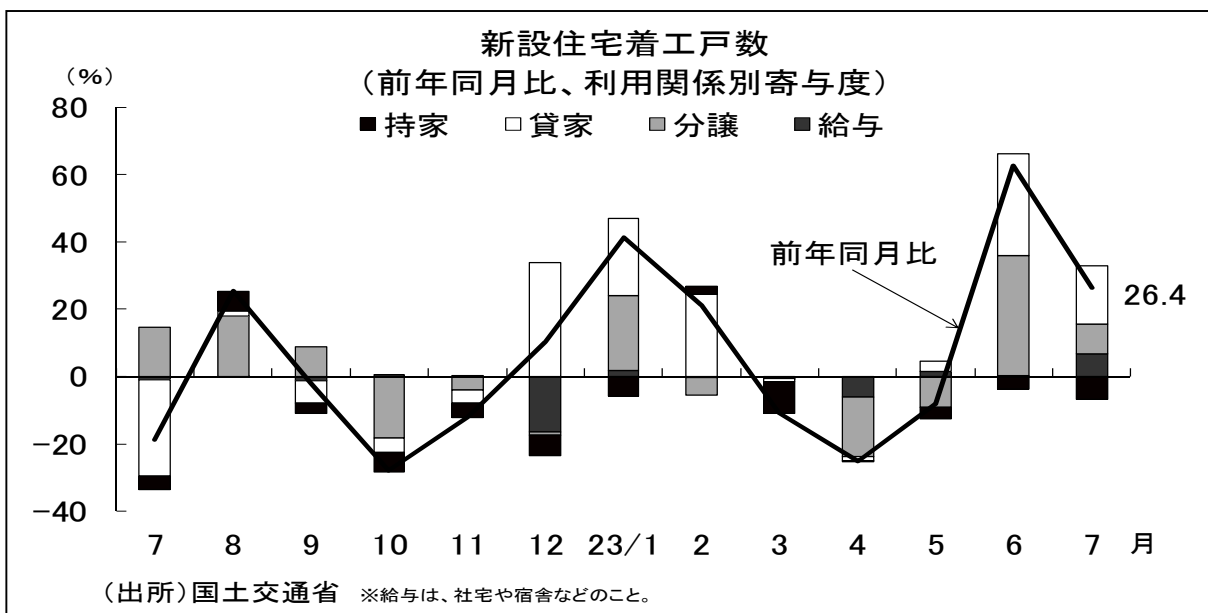
### (2) 建築着工床面積：2カ月連続で増加



- 建築着工床面積(7月)は9万8,510㎡となり、非居住用は減少したものの、居住用は増加したことから、前年同月比5.0%増と2カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用は同17.4%増となり、非居住用は同22.9%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、飲食店・宿泊業用などが増加し、教育・学習支援業用や卸売・小売業用などが減少した。

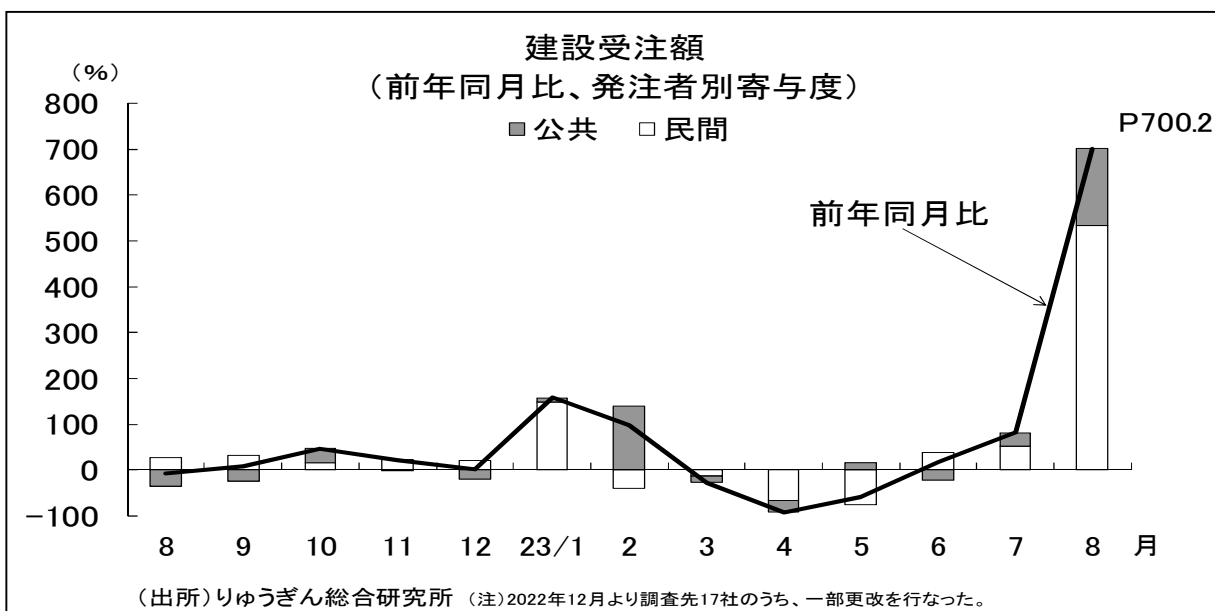


(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で増加



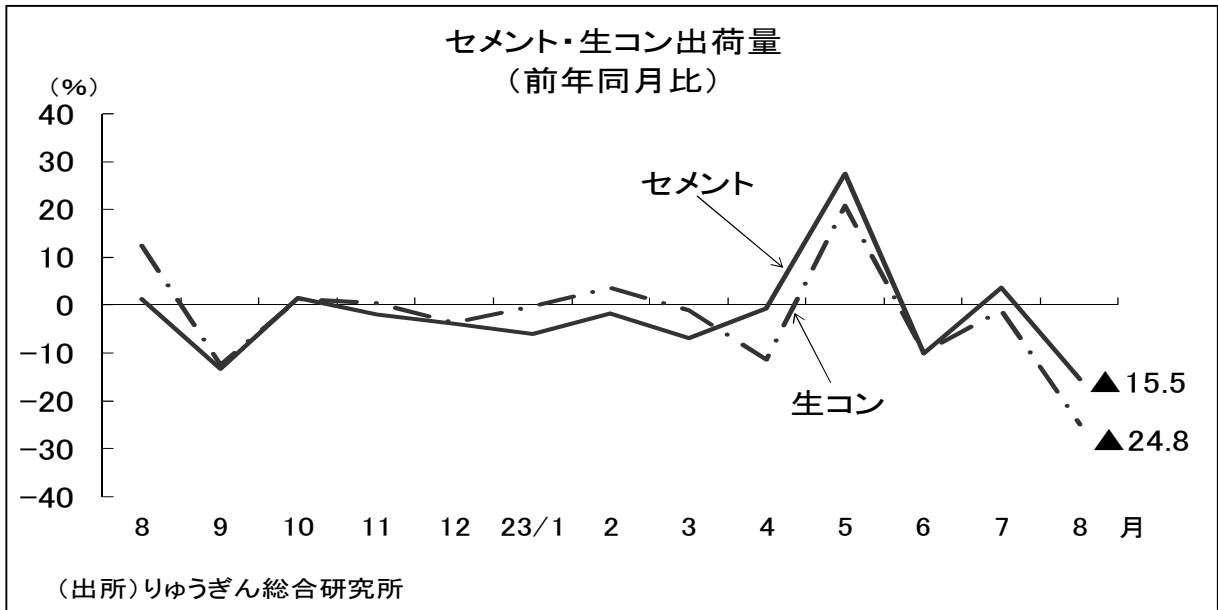
- ・ 新設住宅着工戸数（7月）は924戸となり、持家は減少したが、貸家、分譲、給与は増加したことから前年同月比26.4%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、貸家（390戸）が同48.3%増、分譲（329戸）が同24.6%増、給与（50戸）が同4,900.0%増と増加し、持家（155戸）が同23.6%減と減少した。

(4) 建設受注額：3カ月連続で増加



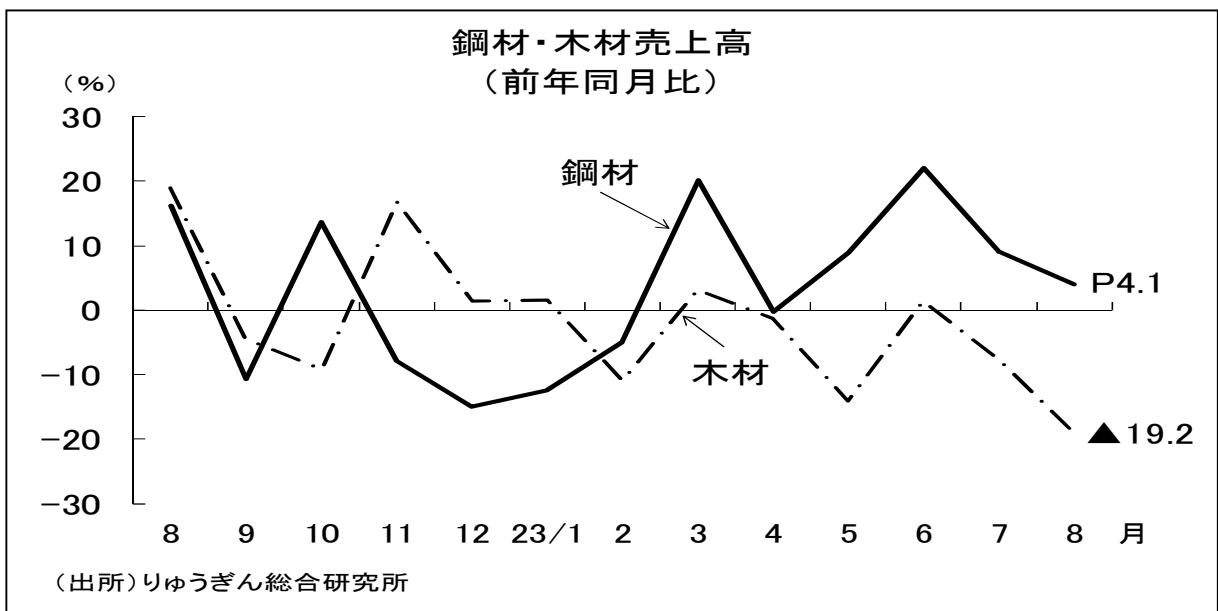
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比700.2%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同530.2%増）は2カ月連続で増加し、民間工事（同178.5%増）は3カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは2カ月ぶりに減少、生コンは3カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は5万982トンとなり、前年同月比15.5%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は7万7,651 m<sup>3</sup>で同24.8%減となり、3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、学校関連向けなどが増加し、一般土木向けや海事工事向けなどが減少した。民間工事では、宿泊施設向けなどが増加し、戸建住宅向けや社屋関連向けなどが減少した。

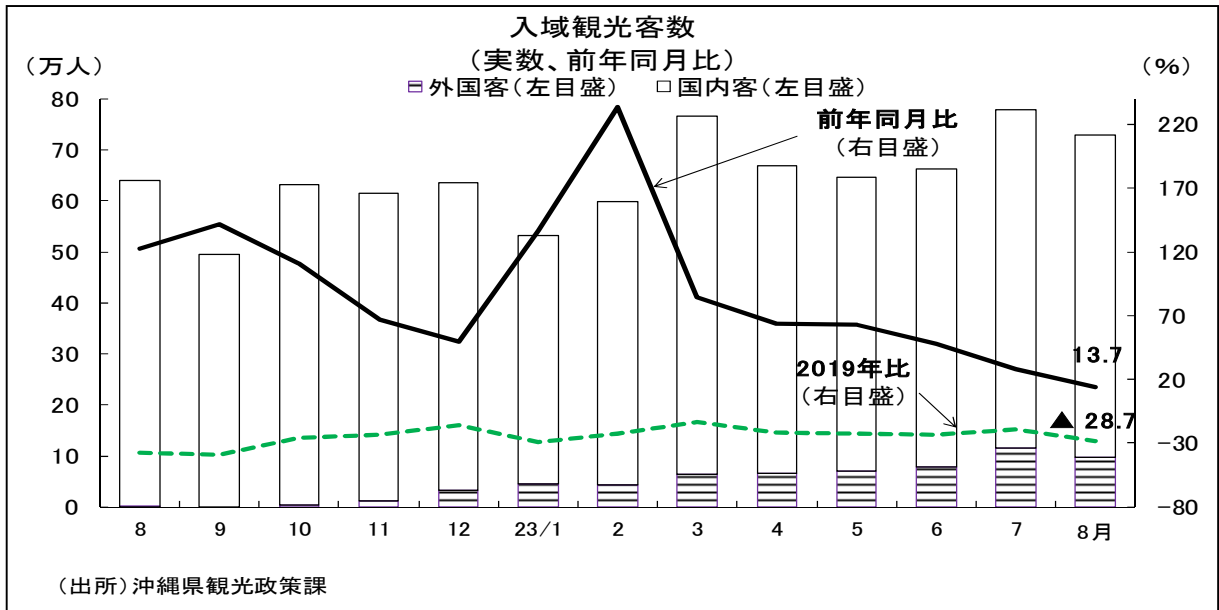
(6) 鋼材・木材：鋼材は4カ月連続で増加、木材は2カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、鋼材価格が高止まりしていることなどから前年同月比4.1%増と4カ月連続で前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が減少したことなどから同19.2%減と2カ月連続で前年を下回った。

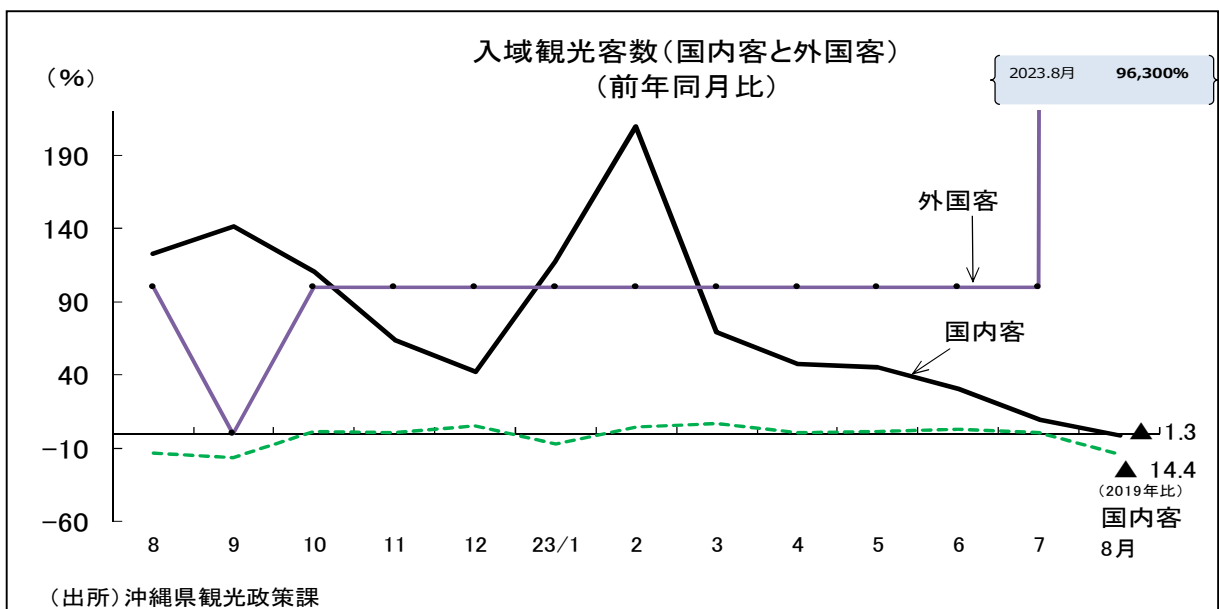
### 3. 観光関連

#### (1) 入域観光客数：21 カ月連続で増加



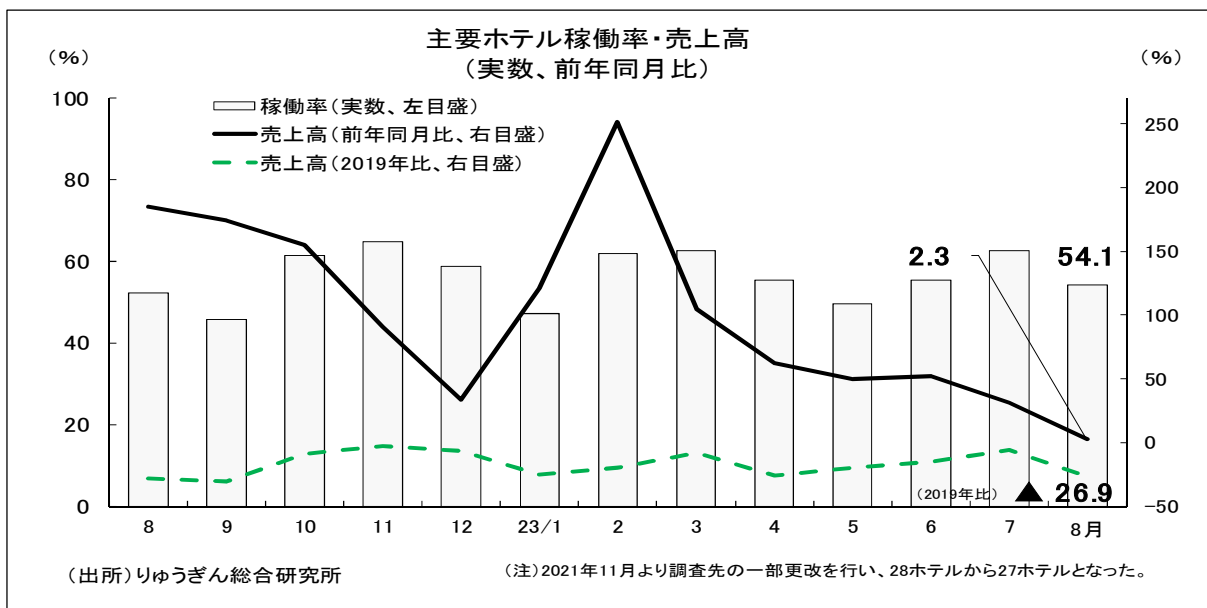
- 入域観光客数は、72万8,600人（前年同月比13.7%増）となり、21カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は70万300人（同9.7%増）となり21カ月連続で前年を上回った。海路は2万8,300人（同1,130.4%増）となり12カ月連続で前年を上回った。
- 夏休みシーズンのなかFIBAバスケットボールワールドカップ2023沖縄大会などイベントもあり、旅行需要が高かった。一方で8月上旬に長期間留まった台風6号の影響が下押し要因となった。
- コロナ禍以前の2019年と比較した伸び率は28.7%の減少となった。

#### (2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は21カ月ぶりに減少、外国客は11カ月連続で増加



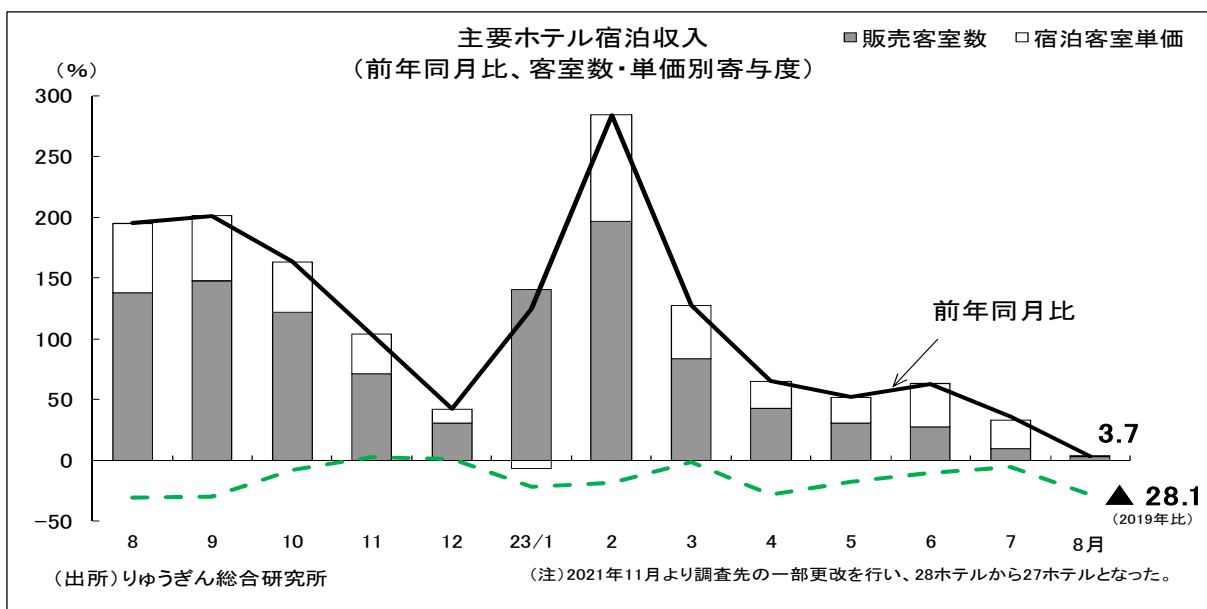
- 国内客は、63万2,200人（前年同月比1.3%減）となり、21カ月ぶりに前年を下回った。外国客は9万6,300人（同96,300.0%増）となり、11カ月連続で増加した。
- コロナ禍以前の2019年と比較した伸び率は、国内客は14.4%の減少、外国客は65.9%の減少となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに21カ月連続で増加



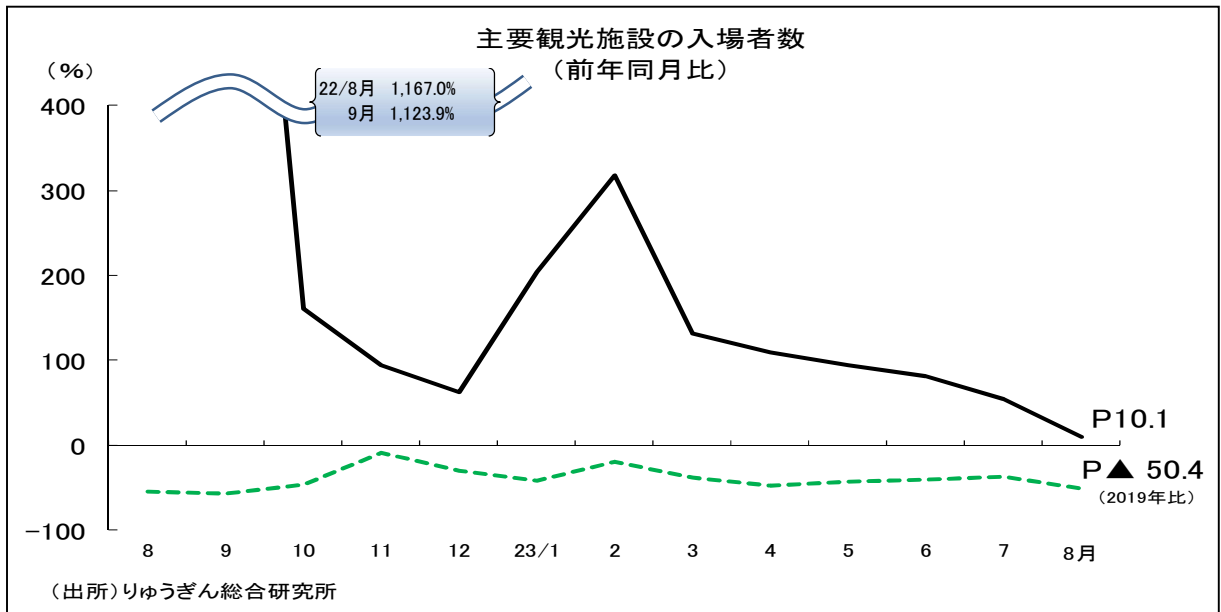
- ・ 主要ホテルは、客室稼働率は54.1%と前年同月差1.8%ポイント上昇、売上高は前年同月比2.3%増となり、稼働率、売上高ともに21カ月連続で前年を上回った。那覇市内ホテルの客室稼働率は50.3%と同7.5%ポイント上昇し、2カ月ぶりに前年を上回り、売上高は同39.0%増と21カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルの客室稼働率は55.5%と同0.2%ポイント低下、売上高は同0.5%減となり、稼働率、売上高ともに21カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ コロナ禍以前の2019年と比較した売上高は、全体は26.9%の減少、那覇市内ホテルは40.3%減少、リゾート型ホテルは25.1%減少となった。

(4) 主要ホテル宿泊収入：21カ月連続で増加



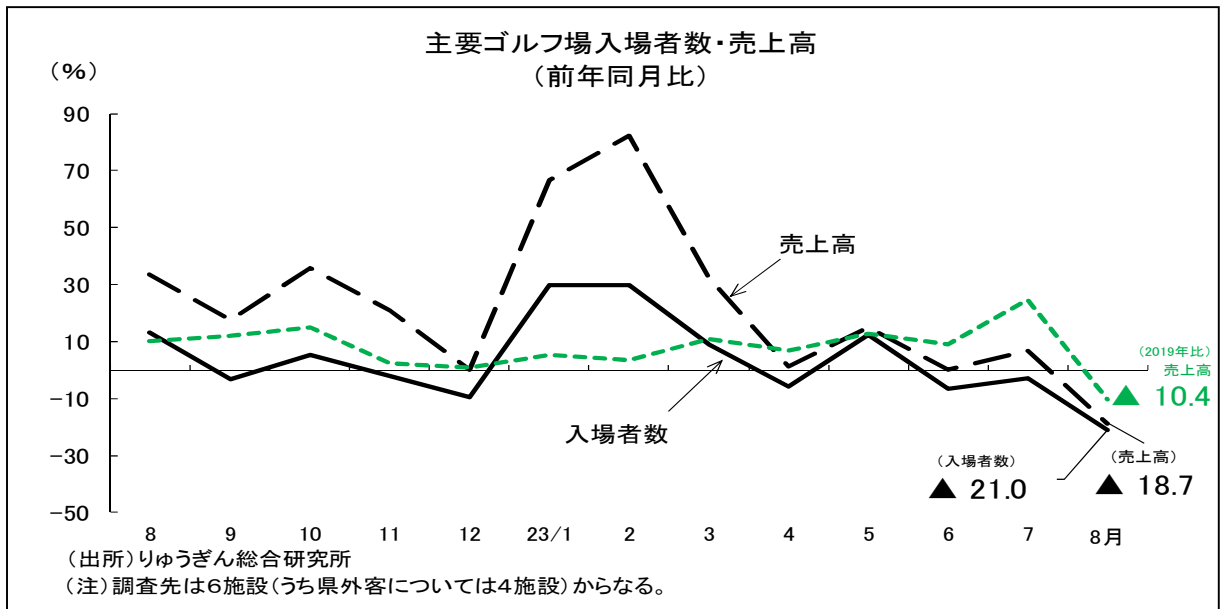
- ・ 主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）も上昇し、前年同月比3.7%増と21カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテル、リゾート型ホテルともに、販売客室数が増加、宿泊単価も上昇し、21カ月連続で前年を上回った。那覇市内ホテルが同52.5%増、リゾート型ホテルが同0.5%増となった。
- ・ コロナ禍以前の2019年と比較した宿泊収入は、全体は28.1%の減少、那覇市内ホテルは40.3%減少、リゾート型ホテルは26.6%減少となった。

(5) 主要観光施設の入場者数：18カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数（速報値）は、前年同月比 10.1%増と 18カ月連続で前年を上回った。
- ・ 観光のトップシーズンとなり、個人客、一般団体客ともに増加したが、台風6号の影響で営業を休止した施設も多く前年比増加幅は縮小した。
- ・ コロナ禍以前の 2019 年と比較した入場者数は、50.4%の減少となった。

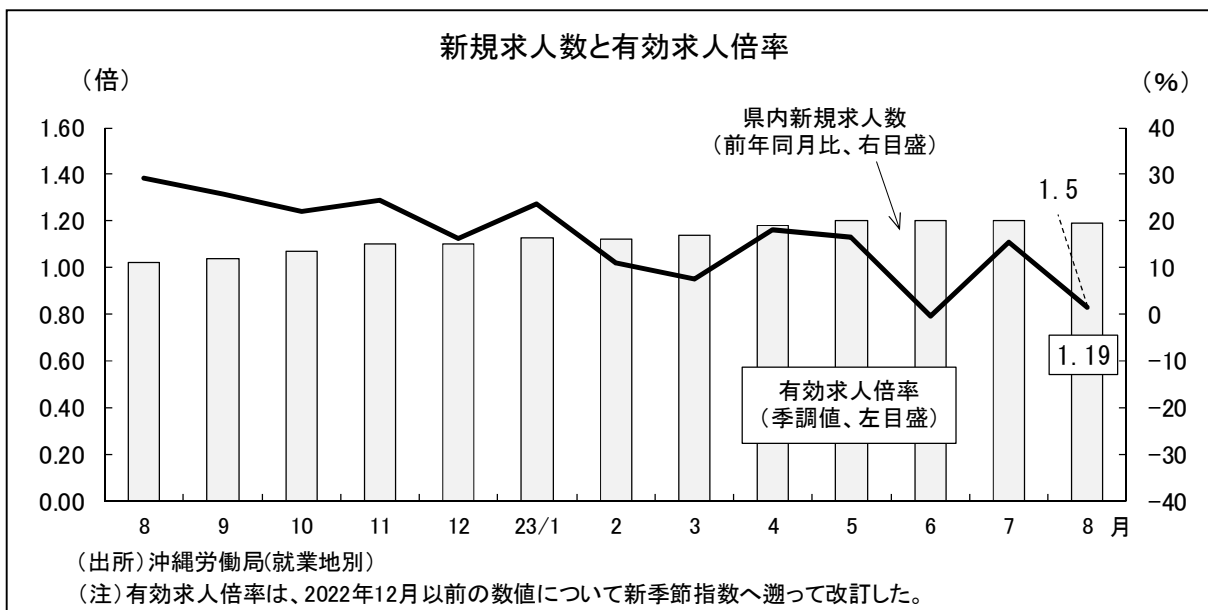
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数3カ月連続で減少、売上高18カ月ぶりに減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 21.0%減と 3カ月連続で前年を下回った。県内客、県外客ともに 3カ月連続で前年を下回った。売上高は同 18.7%減と 18カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 台風6号での被害が大きく、1週間程度営業を停止したことが影響した。
- ・ コロナ禍以前の 2019 年と比較すると、入場者数は 8.0%減少（県内客、県外客ともに減少）、売上高は 10.4%の減少となった。

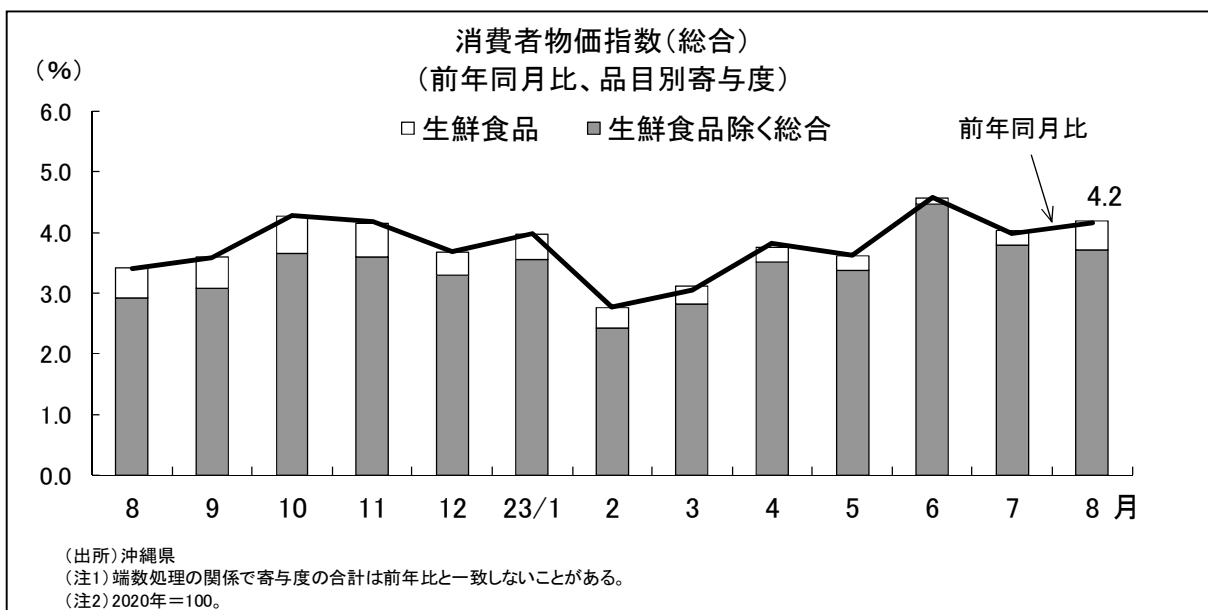
## 4. その他

### (1) 雇用関連：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は低下



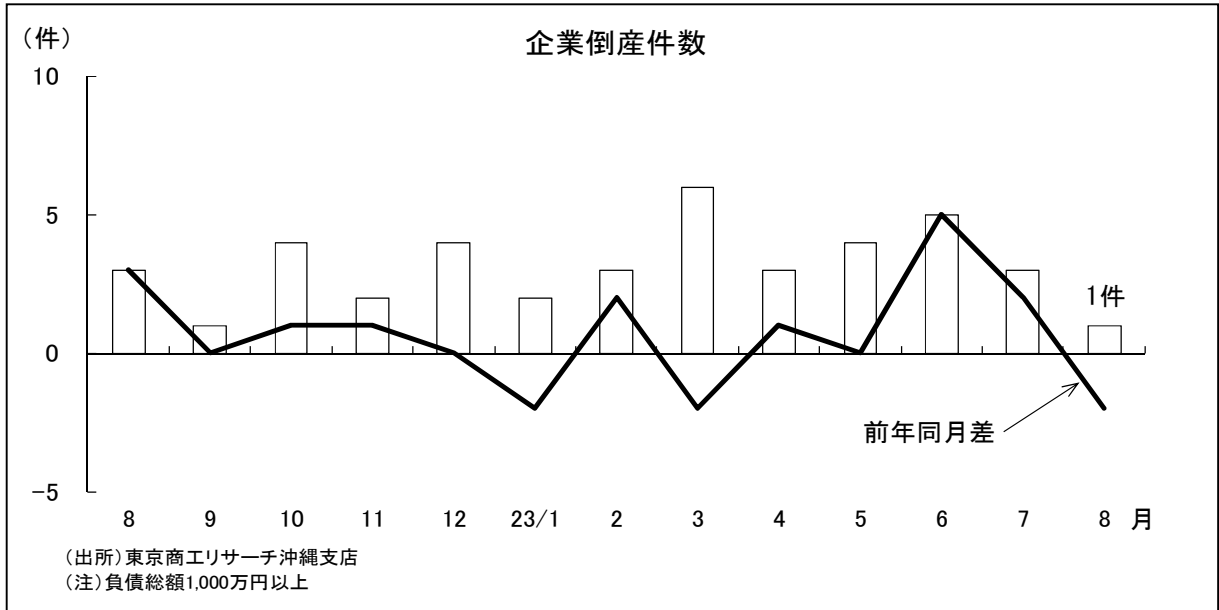
- ・ 新規求人数は、前年同月比 1.5% 増と 2 カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業、卸売業・小売業、医療・福祉などで増加した。有効求人倍率（季調値）は 1.19 倍で、前月より 0.01 ポイント低下した。
- ・ 労働力人口は、76 万 4,000 人で同 1.3% 増となり、就業者数は、73 万 2,000 人で同 0.5% 増となった。完全失業者数は 3 万 2,000 人で同 23.1% 増となり、完全失業率（季調値）は 4.0% と、前月より 1.5 ポイント上昇した。

### (2) 消費者物価指数：24 カ月連続で上昇



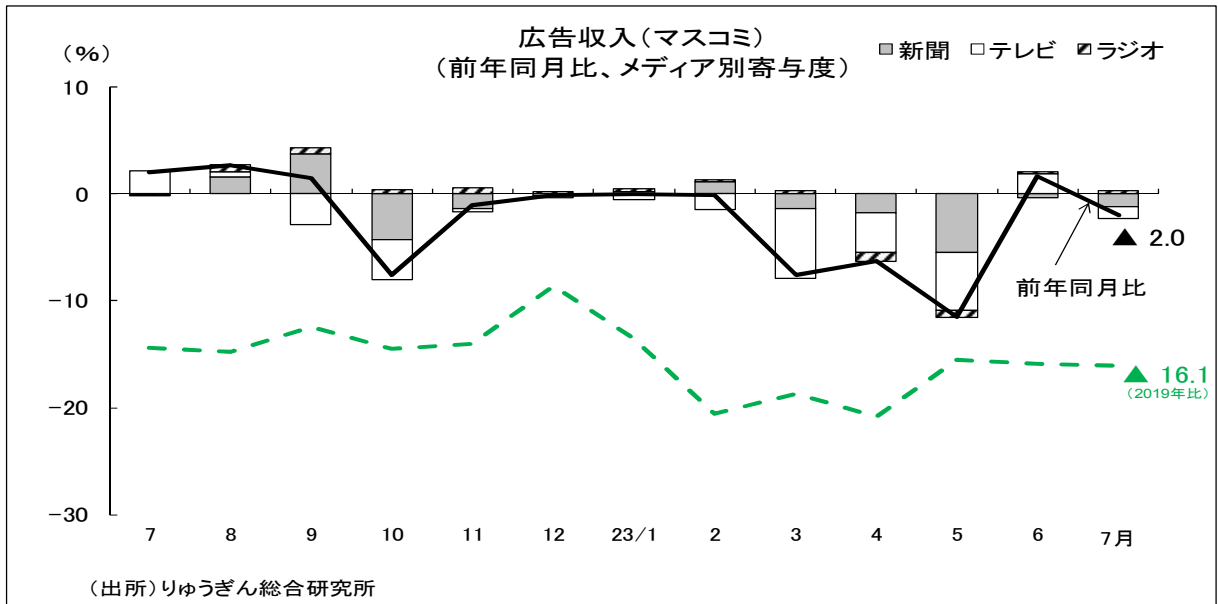
- ・ 消費者物価指数は、前年同月比 4.2% の上昇となり、24 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.9% の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 5.2% の上昇となった。
- ・ 費目別の動きをみると、食料、家具・家事用品などで上昇し、光熱・水道などで下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに減少



- ・ 倒産件数は、1件で前年同月から2件減少した。業種別では、サービス業1件（同1件減）となった。
- ・ 負債総額は2,000万円で、前年同月比94.8%減となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：2カ月ぶりに減少



- ・ 広告収入（マスコミ：7月）は、前年同月比2.0%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 旅行業や外出・レジャー関連の広告の増加がみられたが、前年は選挙関連の意見広告等があり、その剥落が影響した。
- ・ コロナ禍以前の2019年と比較すると、16.1%の減少となった。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19



## 沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	5.6	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2022 7	12.0	2.9	3.6	▲ 1.7	7.6	▲ 4.8	26,405	▲ 40.6	94	▲ 27.0
8	18.4	3.9	5.0	▲ 5.2	▲ 7.0	▲ 2.8	39,829	12.0	114	27.6
9	16.3	0.8	0.9	▲ 8.5	31.9	▲ 14.0	29,347	▲ 45.5	115	29.6
10	▲ 0.3	2.3	2.7	▲ 1.8	21.7	▲ 5.9	29,678	11.1	142	▲ 29.1
11	0.4	4.5	4.9	0.0	11.4	▲ 1.3	17,120	▲ 22.1	168	31.9
12	▲ 0.3	7.1	6.5	1.0	26.0	▲ 2.6	11,214	▲ 37.6	135	▲ 1.3
2023 1	24.8	3.7	4.2	▲ 3.6	32.8	▲ 1.8	11,114	▲ 58.6	97	▲ 20.7
2	16.7	3.4	3.9	▲ 5.0	45.9	2.4	59,359	141.8	99	21.0
3	4.9	5.5	6.5	▲ 1.7	18.6	3.7	84,927	54.9	80	▲ 48.7
4	13.2	6.1	7.2	▲ 7.5	23.7	3.0	17,663	6.4	111	▲ 14.7
5	10.6	7.1	8.4	▲ 3.5	69.8	8.5	14,118	2.8	115	▲ 14.8
6	▲ 3.0	3.1	3.6	▲ 10.4	36.3	4.2	22,582	▲ 55.0	159	27.8
7	8.1	9.4	8.3	▲ 0.8	1.9	4.9	44,353	68.0	99	5.0
8	8.8	8.6	7.6	-	3.2	▲ 13.3	26,976	▲ 32.3	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 2022年4月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2020	10,703	▲ 29.1	3.3	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 72.1	▲ 7.6	▲ 15.7
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 6.0	3.1	▲ 41.0	8.6	3.9
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.0	9.0	134.1	4.7	▲ 2.9
2022 7	731	▲ 18.9	▲ 45.6	9.5	12.4	18.4	11.3	553.7	31.5	2.1
8	810	25.4	▲ 7.7	1.3	12.4	16.2	18.9	1,167.0	13.1	2.7
9	698	▲ 2.1	8.0	▲ 13.2	▲ 12.5	▲ 10.7	▲ 4.5	1,123.9	▲ 3.0	1.5
10	648	▲ 27.8	47.2	1.5	1.3	13.6	▲ 9.3	160.3	5.5	▲ 7.7
11	777	▲ 11.9	22.0	▲ 1.9	0.4	▲ 7.8	16.8	93.8	▲ 1.9	▲ 1.0
12	1,027	10.3	1.9	▲ 3.8	▲ 3.6	▲ 15.0	1.4	62.2	▲ 9.6	▲ 0.1
2023 1	895	41.4	157.9	▲ 6.0	▲ 0.2	▲ 12.5	1.5	203.7	29.7	▲ 0.1
2	657	21.2	98.7	▲ 1.7	3.6	▲ 5.0	▲ 10.9	317.5	29.9	▲ 0.1
3	670	▲ 10.9	▲ 25.9	▲ 6.8	▲ 1.1	20.2	3.2	131.9	8.9	▲ 7.6
4	733	▲ 25.2	▲ 91.5	▲ 0.6	▲ 11.4	▲ 0.3	▲ 1.3	109.3	▲ 5.6	▲ 6.3
5	768	▲ 8.0	▲ 57.4	27.4	20.8	8.8	▲ 14.2	94.4	12.3	▲ 11.5
6	1,213	62.6	18.6	▲ 10.0	▲ 9.8	22.1	1.3	80.7	▲ 6.6	1.7
7	924	26.4	P82.3	3.6	▲ 1.1	P9.0	▲ 7.7	P52.0	▲ 2.7	▲ 2.0
8	-	-	P700.2	▲ 15.5	▲ 24.8	P4.1	▲ 19.2	P10.1	▲ 21.0	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2022年12月より調査先17社のうち、一部更改を行った。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

## 沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.6	▲ 65.2	▲ 58.8	76.0	12.9
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	-	-
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	-	-
2022 7	607.8	142.7	0.0	0.0	55.5	56.7	203.8	213.2	70.2	2.6
8	640.8	122.3	0.1	100.0	42.8	54.9	198.3	183.7	69.1	4.6
9	494.7	141.4	0.0	0.0	44.1	45.7	188.0	172.2	73.0	2.4
10	630.7	110.9	2.7	100.0	57.5	62.0	173.2	152.5	72.1	▲ 5.0
11	615.0	67.1	12.1	100.0	68.9	61.7	114.1	86.3	68.0	▲ 9.0
12	635.0	49.9	32.8	100.0	64.9	56.0	39.8	32.1	70.3	16.9
2023 1	532.2	137.0	44.8	100.0	55.9	44.0	156.0	113.6	75.0	▲ 1.6
2	597.9	233.6	43.4	100.0	70.9	58.5	214.5	262.7	75.6	2.6
3	766.2	84.3	64.2	100.0	62.8	55.2	89.2	84.7	77.3	0.4
4	669.9	63.8	66.8	100.0	53.8	55.9	58.8	62.2	72.0	▲ 11.4
5	645.3	62.6	70.0	100.0	46.6	50.6	27.3	53.2	72.8	2.8
6	663.4	47.9	77.7	100.0	55.5	55.4	52.3	51.6	72.9	▲ 0.4
7	778.5	28.1	114.9	100.0	55.1	65.5	28.8	31.3	70.4	0.3
8	728.6	13.7	96.4	96,300.0	50.3	55.5	39.0	▲ 0.5	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2021年11月より調査先が28ホテルから27ホテルとした。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.7	0.4	0.80	0.7	44,890	126,238
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.2	2.1	0.98	22.5	75,417	302,815
2022 7	1	94	▲ 39.0	3.1	3.6	▲ 0.8	0.99	20.6	2,105	41,762
8	3	381	100.0	3.4	3.3	▲ 0.3	1.02	29.3	1,554	23,840
9	1	83	219.2	3.6	3.0	3.3	1.04	25.7	14,756	30,977
10	4	816	88.0	4.3	2.7	3.6	1.07	22.2	2,300	22,508
11	2	75	▲ 76.6	4.2	3.5	1.2	1.10	24.5	8,149	25,351
12	4	617	▲ 65.8	3.7	3.6	2.1	1.10	16.1	6,131	51,763
2023 1	2	128	▲ 95.5	4.0	2.8	0.9	1.13	23.7	1,061	17,031
2	3	430	4,200.0	2.8	3.5	1.6	1.12	11.0	1,870	12,347
3	6	145	▲ 84.5	3.1	3.9	0.1	1.14	7.5	5,927	25,429
4	3	294	72.9	3.8	4.0	0.0	1.18	18.0	24,678	21,830
5	4	689	474.2	3.6	3.7	1.1	1.20	16.6	1,147	10,583
6	5	225	100.0	4.6	3.0	2.4	1.20	▲ 0.5	1,429	20,164
7	3	147	56.4	4.0	2.5	3.9	1.20	15.4	1,943	47,767
8	1	20	▲ 94.8	4.2	4.0	0.5	1.19	1.5	1,326	36,444
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2022年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

## 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2020FY	3,019	2,812	206	1.399	165	▲ 13.1	3,016	▲ 10.8	7	0.002
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	150	▲ 9.0	2,720	▲ 9.8	106	0.039
2022FY	2,581	3,453	▲ 869	1.332	-	-	-	-	-	-
2022 7	172	253	▲ 80	1.341	11	▲ 10.3	161	▲ 18.9	7	0.044
8	224	346	▲ 122	1.339	13	▲ 6.9	251	▲ 10.6	11	0.045
9	168	258	▲ 90	1.336	12	▲ 6.8	198	▲ 8.0	1	0.006
10	170	280	▲ 110	1.337	11	4.6	183	▲ 0.6	0	0.000
11	206	295	▲ 88	1.333	-	-	-	-	-	-
12	432	199	232	1.332	-	-	-	-	-	-
2023 1	144	417	▲ 272	1.331	-	-	-	-	-	-
2	178	306	▲ 128	1.328	-	-	-	-	-	-
3	202	352	▲ 149	1.324	-	-	-	-	-	-
4	271	241	30	1.332	-	-	-	-	-	-
5	155	419	▲ 264	1.333	-	-	-	-	-	-
6	187	286	▲ 98	1.329	-	-	-	-	-	-
7	196	279	▲ 83	1.325	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

注) 手形交換所は2022年11月に業務終了した。

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2020FY	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
2021FY	58,037	4.1	41,033	0.5	58,716	4.1	10,428	1.0	3,005	4.9
2022FY	60,065	3.5	41,959	2.3	60,834	3.6	10,667	2.3	3,006	0.0
2022 7	60,255	5.2	40,988	0.6	60,929	5.1	10,341	▲ 0.8	2,977	▲ 0.5
8	60,099	4.7	41,025	0.7	60,804	4.8	10,686	2.6	2,977	▲ 0.6
9	59,815	4.8	41,274	0.6	60,532	4.8	10,735	1.9	2,982	▲ 0.4
10	59,879	4.2	41,162	0.4	60,544	4.2	10,713	1.9	2,995	▲ 0.1
11	59,832	3.7	41,268	1.4	60,547	3.9	10,744	2.4	2,990	▲ 0.2
12	59,865	3.9	41,442	0.6	60,609	3.9	10,736	2.5	2,998	▲ 0.1
2023 1	59,447	3.2	41,466	1.6	60,153	3.2	10,733	2.7	3,002	0.0
2	59,542	3.3	41,654	2.1	60,217	3.4	10,727	2.7	2,996	▲ 0.1
3	60,065	3.5	41,959	2.3	60,834	3.6	10,667	2.3	3,006	0.0
4	61,161	2.5	41,478	2.0	61,863	2.6	10,618	1.3	2,987	0.1
5	61,098	2.7	41,518	1.5	61,841	2.8	10,569	1.2	2,977	▲ 0.1
6	61,274	2.0	41,570	1.6	62,029	2.1	10,501	0.7	2,971	▲ 0.1
7	61,590	2.2	41,630	1.6	62,275	2.2	10,465	1.2	2,969	▲ 0.3
8	61,531	2.4	41,559	1.3	-	-	10,287	▲ 3.7	2,964	▲ 0.5
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。